

石巻市立湊小学校

2014年 12月 19日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

(1) 『子どもの命は守られたのか』数見隆生 編著(2011)かもがわ出版

【場所】

海から約1.7km、旧北上川から約240m離れた位置にある。

住所:宮城県石巻市吉野町1-3-21



【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階天井まで浸水。

【震災当日の様子】

地震が起こった時、学校は午前中で授業を終え、午後からの大掃除の時間であった。学校にいた児童は校庭に集めた。下校済みの児童もいたが、帰宅途中の児童ため学校に戻ってきた。教頭が「3mの津波警報」の情報を得て、室内への避難へ切り替えることになった。親への引き渡しを考えると体育館だが、体育館はワックスがけをしたばかりであったため校舎へ避難した。教育委員会に用事で行っていた校長が戻り、「カーラジオで6m以上の大津波警報といていた」という情報確認で、校舎3階以上(校舎は4階建て)に避難することになった。また、近くに高台がないため保護者には子どもを引き渡さず一緒に警報解除までいてもらうことを方針として徹底した。近隣住民も避難してきており、校舎へ誘導した。

津波が襲来し、校舎1階天井までで止まった。(1)

【調査して言えること】

海から1.7km離れているが、学校の標高は約0.8mしかなく、また旧北上川から240mという近い距離にあるため、地震の際は津波を警戒した避難の必要な学校である。

学校の東隣は寺院になっており、そのさらに東側は山になっているが、山の斜面は急で、直接学校の裏から寺院を登って山に登ることは難しそうであった。また、学校から北に350mほど離れた山中に館山公園という場所があり、標高50m近く上がる。

学校の近くに避難できそうな山はあるが、大きな川が近い学校であるため学校外に避難する際は避難経路の設定に注意が必要な学校である。



南から見た学校と寺院と山(2014/3/18撮影)



寺院の裏山の様子(2014/3/18撮影)

※斜面は急でコンクリートで固めてあり、登るのは難しい。